



世界最古の会社から学ぶもの

世界の現存する企業のなかで一番古い会社は、どこの国の何という会社でしょうか。東インド会社と考える人がいるかもしれませんが、東インド会社は世界最古の株式会社ですが、オランダ東インド会社、イギリス東インド会社は共に解散しています。

実は世界最古の企業は、日本の大阪に現存する金剛組といわれています。全世界で創業1000年を超えている企業は12社しかありません。そのうち何と9社が日本にあります。皆さんが知っている企業としては、587年に創立されたのが、華道で有名な池坊華道会です。それより更に古いのが飛鳥時代の578年に創業された金剛組です。聖徳太子が四天王寺を建立するために百濟から宮大工を招請しました。その宮大工の金剛重光が創業したのが金剛組なのです。

日本に古い企業があるのは、日本の国土が戦乱に巻き込まれることが少なかったといわれています。

しかし、古からある企業には現存している理由があると思います。金剛組には、32代当主の遺言書『職家心得之事』が残されています。そこには幾つかの家訓(社訓)が記されています。その中に「儲けすぎない」

「恥ずかしくない仕事をする」「誰にでも丁寧に接する」などがあり、さらに金剛組の企業パンフレットには「歴史は、皆様とともに」「技術は、皆様のために」という標語が記されています。特に「歴史は、皆様とともに」の文中には、「どんなに立派な建物も永遠ではありません。しかし、そこに込められた人々の心は、いつまでも引き継がれてゆくもの。」という一文があります。本当にそのとおりだと思います。

校長として職務にあたっていますが、自らの心が引き継がれるような仕事をしなくてはいけないと思っています。それが清陵という伝統を創り、清陵がこの地で聳え立つことになると考えています。

人は生きるために仕事をしなくてはなりません。世の中には色々な仕事がありますが、単に生きるために仕事をしているのでは、仕事に対する意味を見つけ出すことができず、仕事を通して人生を豊かにすることはできないと思います。金剛組の宮大工さんは、食べるために仕事をしているわけではありません。宮大工なので儒仏神の教えを考え、皆のために役立ちたいという思いが、匠の技術を身につけ、歴史と共に歩むことになっているのです。それが四天王寺や那智青岸渡寺三重塔を始め数々の寺社、仏閣を残すことができたのだと思います。

皆さんも、勉強や部活動において、自分のためだけではなく、周囲のことも考えながら行動することが、自らを大きく成長させ足跡を残すことになるのだと思います。



「入学式での祝辞」

校 長

横浜清陵高等学校に入学した皆さん、誠におめでとうございます。本校を代表して校長の私より祝意を述べさせていただきます。また、愛情を持って今日まで育てられてきたご家族や関係者の皆様に対しても心より祝意を述べさせていただきます。さらにご多忙のなか、晴れの入学式にご臨席を賜りました来賓の皆様には、厚く御礼を申し上げます。

さて、私から入学に際してひとつお話をさせていただきます。

皆さんが受検した平成 31 年度の公立高校入試で、本校は志願変更前 1.72 倍という高い競争率になり、志願変更後も 120 人にも及び受検生が涙を呑む結果となりました。この狭き門をくぐり入学してくれた皆さんに、改めてお祝いと感謝を述べさせていただきます。

さて、皆さん、今年は横浜開港 160 周年の年でもあります。本年も 6 月 1 日(土)、6 月 2 日(日)の両日、臨港パーク及び MM21 地区で横浜開港祭が開催されます。いまから 160 年前の安政 6 年 6 月 2 日(西暦 1859 年 7 月 1 日)、安政の開国により横浜港は開港されました。わずか 100 戸余りの農村が、いまや人口 370 万人を越す日本で 2 番目に人口の多い都市です。横浜の人口は四国地方に匹敵する人口となっています。開港当時の横浜から現在の発展を、誰が想像できたでしょうか。本校も横浜港のように発展するために、歴史を積み重ねていかななくてはいけないと思っています。また、横浜の経済的な発展も著しく、現在の横浜の GDP は約 13 兆円、日本の都市では第 2 位、世界の OECD 諸国の中でもニュージーランドやスロバキア一国の経済規模に匹敵します。横浜に本社のある企業といえば日産自動車や崎陽軒、コナカ、アオヤマ、劇団四季などがありますが、その一つに株式会社サカタのタネがあります。港北ニュータウンの都筑区に本社を構える企業ですが、名前のお通り種苗会社です。この会社はプリンスメロンやアンデスメロンなどを生んだ企業です。企業として利益を上げるだけに新しい品種を作ったわけではありません。今は想像できないかもしれませんが、戦後、メロンは高価でした。入院しないとメロンを食べることができないといわれるほどでした。サカタのタネは、何とか安い価格で皆が口にできるようにしたいと、メロンの品種改良を行い、新しい品種を開発することに成功したのです。このように、何か目標をもって行動するとき、新しい何かを得ることができるのだと思います。

皆さんは平成 31 年 4 月 8 日の今日、神奈川県立横浜清陵高等学校の第 3 期生として入学しました。本校で漫然として高校生活を送らないでください。授業があるから学校に登校する、出席するのではなく、何か目標のために学校に登校し、授業に出席してください。漫然とした高校 3 年間と、目標を持った高校 3 年間では、大きな差がでてきます。目標を持って目指しても必ず成功するとは限りません。しかし、試合で負けたり、受験で失敗したりするから、次の成功が見えてくるのです。失敗こそ成功のための糧なのです。そのためには中学校生活を振り返り、失敗したことを教訓にし、自らを高めるための目標を定めてください。皆さんは、いま茎や枝から花を咲かせようとしている時期です。花を咲かせ、その後、実をつけるのです。

私達教職員は、皆さんが花を咲かせ、実を結ぶための支援を行っていきます。

以上をもって横浜清陵高等学校を代表し、校長からの祝辞とさせていただきます。